

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (令和元年10月度)

対象期間: 令和元年10月1日 ~ 令和元年10月31日

1. 埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量

[施行規則12条の7の2 第8号イ、施行規則12条の7の5 第7号イ] (単位: t)
(産業廃棄物) (一般廃棄物)

種類	数量	数量
燃え殻		
汚泥	21.76	
廃油 (タービン油類に限る)		
廃プラスチック類	1,133.03	
紙くず		
木くず	13.26	0.43
繊維くず	7.17	
動物性残さ	0.32	
ゴムくず		
金属くず	0.33	
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	226.33	
鉱さい		
がれき類		
動物のふん尿		
動物の死体		
ばいじん	42.25	
処分するために処理したもの		
廃石綿等	2.61	
石綿含有産業廃棄物		
水銀使用製品産業廃棄物		
水銀含有ばいじん等		
合計	1,447.06	0.43

2. 残余容量

[施行規則12条の7の2 第8号リ、施行規則12条の7の5 第7号リ]

測定年月日	平成31年3月31日
測定結果	残余容量 62,973m ³

3. 水質検査の実施状況と措置 (年1回以上)

[施行規則12条の7の2 第8号ニ及びホ、施行規則12条の7の5 第7号ニ及びホ]

採取場所	地下水			放流水
	上流	下流	下流 (マンホールビット)	放流口
採取年月日	平成31年4月8日	平成31年4月8日	平成31年4月8日	平成31年4月8日
検査結果が得られた日	平成31年4月23日	平成31年4月23日	平成31年4月23日	平成31年4月23日
(ダイオキシン類)	(令和元年5月22日)	(令和元年5月22日)	(令和元年5月22日)	(令和元年5月22日)
検査項目 (分析結果)	別添 (PDF)	別添 (PDF)	別添 (PDF)	別添 (PDF)
異常の有無	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
必要な措置を講じた年月日とその内容	—	—	—	—

4. 水質検査の実施状況と措置 (月1回以上)

[施行規則12条の7の2 第8号ニ及びホ、施行規則12条の7の5 第7号ニ及びホ]

採取場所	地下水			放流水		
	上流	下流	下流 (マンホールビット)	放流口		
採取年月日	令和元年10月15日	令和元年10月15日	令和元年10月15日	令和元年10月15日		
検査結果が得られた日	令和元年10月30日	令和元年10月30日	令和元年10月30日	令和元年10月30日		
検査項目	電気伝導率	13 ms/m	21 ms/m	230 ms/m		
	塩化物イオン	7.1 mg/L	8.1 mg/L	110 mg/L		
	水素イオン濃度			pH	7.2	
	生物化学的酸素要求量			BOD	5.6	mg/l
浮遊物質			SS	23.0	mg/l	
分析結果	別添 (PDF)	別添 (PDF)	別添 (PDF)	別添 (PDF)		
異常の有無	異常なし	異常なし	異常なし	異常あり		
必要な措置を講じた年月日とその内容	—	—	9月30日検査結果では電気伝導率及び塩化物イオンについては高い値を示していたが、最終処分場に係わる技術上の基準に定める省令に基づく項目は基準値を超えていない。	SSの超過が見られた、一時放流を停止し再検査を実施。11月1日結果を確認、基準値内に収まったので放流を再開。		

5. 施設の点検

[施行規則12条の7の2 第8号ロ、ハ、エ、ト及びチ、施行規則12条の7の5 第7号ロ、ハ、エ、ト及びチ]

日常点検項目	擁壁等	遮水工	調整池	浸出液処理設備	防凍措置
点検年月日	令和元年10月1日~31日	令和元年10月1日~31日	令和元年10月1日~31日	令和元年10月1日~31日	—
	各日 (会社営業日)	各日 (会社営業日)	各日 (会社営業日)	各日 (会社営業日)	—
異常の有無	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	—
必要な措置を講じた年月日とその内容	—	—	10月11日遮水シート修繕工事実施、修繕工事完了により12日から送水を開始。	—	—
週間点検項目	保有水集排水設備	発生ガス処理設備	地下水集排水施設	雨水集排水施設	
点検日	3日、10日、17日、24日、31日	3日、10日、17日、24日、31日	3日、10日、17日、24日、31日	3日、10日、17日、24日、31日	
異常の有無	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	
必要な措置を講じた年月日とその内容	—	—	—	—	—